

講義要目

なぜ、このような講義を開講するのか

- ・都市を理解するためには都市の過去を理解しなければならない
- ・都市は例外なく過去の蓄積の上に成り立っている
- ・「過去は未来のためにある／未来は過去のうちにある」 We need roots to have wings.
- ・しかし、私たちの都市理解の根源に都市をみる視点のあり方の問題がある→理解していないものは実際には見えていても往々にして理解できないもの
- ・そのうえ、歴史を手掛かりに、具体的にどのように都市を理解していくのか、その方法論はまだ確立していない

簡単な自己紹介

- ・近代的都市計画への違和感から歴史的環境の保全運動に 『町並みまちづくり物語』 (1997)
- ・町並み保全の方法論の模索 『環境保全と景観創造』 (1997) 『都市保全計画』 (2004)
- ・次第に景観の保全・整備全般に関わるようになる 『都市の風景計画』 (2000)
- ・景観法 (2004) の制定にかかわる 『日本の風景計画』 (2003) 『西村幸夫風景論ノート』 (2008)
- ・歴史まちづくり法 (2008) の整備・運用にかかわる
- ・次第に、歴史的地区にとどまらない都市保全の方法を模索 『まちの見方・調べ方』 (2010)
- ・都市をいかに読み解くか 『都市空間の構想力』 (2016)
- ・世界文化遺産に関わる 『世界文化遺産の思想 (仮題)』 (近刊)

日本の近代都市計画への違和感

- ・過去の否定、進歩史観 :たとえば日本橋の上の高速道路、建設当時はだれも異論を差し挟まなかった。
- ・計画への時間観念の欠如 :都市計画図にはプロセスが欠如している
- ・過去の都市計画を検証していない→反省のない都市計画 :つねに今日の課題と向き合わざるを得ない
- ・value-based planning の欠如
- ・原子的な個人による民主主義→コミュニティの不在 :近代的自我を持った個人を前提としている

用語の定義

conservation : 保全 ex. nature conservation, community conservation

preservation : 保存 ex. Preservation of species, historic preservation (米語)

protection safeguard enhancement : 保護、補強

文化財保護法の「保護」は保存して活用すること

自然保護と自然保全

conservation (英) - sauvegarde (仏) - schutz (独) - preservation (米)

preservation (英) - conservation (仏) - schutz/pflege (独)

講義の全体構成

都市の読解の方法論を示す

対象とするのは県庁所在都市

具体的な都市は学生アンケートによって決める

都市読解のてがかり (その1)

1 近代地図

- ・前史としての伊能図:「官版実測日本地図」(1866)→20万1集成図
- ・迅速図:「第一軍管地方二万分一迅速測図」(1880-1881)、参謀本部陸地測量部
仮製図:「京阪神地方仮製二万分一地形図」(1884-1890)、同上
いずれも地形図の源流、三角測量以前、1921に廃版
- ・正式図:「正式二万分一地形図」(1885-)1325面製作、北海道、北東北、沖縄以外を網羅
- ・1890に国土基本図が二万分一から五万分一へ変更、1901より2.5万分1も作成
- ・地積図:徴税のための一筆ごとの地図、「壬申地券地引絵図」(1872)、「地租改正地引絵図」(1875-1879)
地籍編製地籍地図(1880-)など

2 地形と立地：「大地に構える」

- ・ 細かな地形の変化の中にある日本の都市
- ・ 都市・集落の類型とその立地
 - 古代都城：奈良、京都
 - 守護領から城下町へ：山口
 - 門前町：長野
 - 城下町：（後述）
 - 城下町から変化したもの：岐阜
 - 宿場町：浦和
 - 港町：青森、新潟、長崎、横浜、神戸、
 - 開拓都市：札幌
 - 複合都市：大津、福岡
 - その他：宮崎、千葉
- ・ 城下町を例に
 - 中世の山城とふもとの館：岐阜、鹿児島、
 - 河口の三角州：広島、徳島
 - 舌状台地の先端：秋田、山形、水戸、東京、千葉、名古屋、大坂、金沢、和歌山、熊本
 - 海辺：高松、福岡、大分、鹿児島
 - 海からはやや入るが港機能はある：大坂、岡山、広島、鳥取
 - 川辺：前橋、富山、福井、大阪、和歌山、岡山、高知、熊本
 - 山・丘のふもと：盛岡、秋田、宇都宮、甲府、岐阜、鳥取、松江、松山、徳島、高知、熊本、鹿児島
 - 扇状地にある微高地：甲府、長野
 - 川の合流点：盛岡、福島、福井、大阪
 - 川と川の間平地：津
 - 平野の中央：静岡、佐賀
 - 外港を持ちやや内陸部：秋田、金沢、福井、和歌山
 - 段丘上、川をエッジに、対岸：仙台

3 街路構成：「街路を配する」

- ・ 城下町の新しさ
 - 武家地の集約、商業政策としての都市、防御から交易へ
 - 16世紀末から17世紀前半にかけての半世紀にほぼすべての城下町が建設された
 - これらの城下町がその後の日本の都市の根幹となった
 - その意味で日本の都市の大半は計画都市
 - しかし、城下町は多様である
- ・ 単一の計画原理による都市と複数の計画原理による都市
 - 「リング型の都市」と「ブドウ型の都市」
 - 成立過程の違い
 - 細かな地形に対応した計画がありえる
- ・ 城下町を分類すると
 - リング型：秋田、山形、仙台、福島、静岡、名古屋、岡山、広島、高松、佐賀、大分
 - ブドウ型：東京、金沢、徳島、熊本
 - 中間型：盛岡、水戸、松山、高知
- ・ 都市は過去に生きた為政者やテクノクラート、都市生活者らが時代を重ねながら、結果的に作り出してきた「作品」である

配布物について

毎回、ハンドアウトとアンケートを配布

ハンドアウトは研究室HPにおいても公開：<http://ud.t.u-tokyo.ac.jp/ja/> 講義・資料のタグ

試験について

レポートとします

参考文献

別紙参照